

平成 26 年度「内閣府青年国際交流事業」予算確保のための活動記録

平成 25 年 4 月から 6 月にかけて実施された「青年国際交流事業に関する検討会」において、「東南アジア青年の船」並びに「世界青年の船」の事業効果を高く評価され、平成 25 年 8 月には「世界青年の船」事業を継承した青年国際交流事業である「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」の予算が概算要求に計上されました。

10 月より「内閣府青年国際交流事業」担当となられた岡田広内閣府副大臣兼復興副大臣及び福岡資麿内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官とお会いして御説明したところ、内閣府青年国際交流事業の重要性について御理解くださいました。また、平成 26 年度「内閣府青年国際交流事業」予算要求にあたり、御尽力いただきました亀岡偉民内閣府政務官への御礼と、従来の事業とともに「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」の予算確保についてのご願いに伺いました。

12 月下旬に平成 26 年度の政府予算案が決定されます。「世界青年の船」が「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」として、海外寄港の再開がされるようがんばりましょう。

文責：日本青年国際交流機構 副会長 大橋玲子

<写真による記録> 掲載の御了解をいただいています。

1. 岡田広内閣府副大臣兼復興副大臣



2. 福岡資麿内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官



3. 亀岡偉民内閣府政務官



(以上)